

編集発行

岩手県農業研究センター

所長 田中 義一

〒024 北上市成田20-1
TEL 0197 (68) 4402~4403

急がれる研究情報と園芸畑作研究

農業研究センター 園芸畑作部長 阿部 隆



輸入農産物の増、減反面積の拡大などが進行する中、我が国においても“食と農”に関する話題が多い。農業白書によると、世界的には21世紀の早い時期に食糧需給は人口増、地球環境問題、生活水準の向上に伴う食糧需要の増大などで、不安定な局面を迎える事を懸念している。

研究は中長期的展望を持って取り組む事が大切である事は当然である。しかし、急激に変貌する農業情勢下において、現在農家が抱えている課題に対し、全力でしかもスピーディーに取り組み、迅速に急ぎ情報発信する事が今まさに求められている。

当部も個々の技術開発のみにとどまらず、水田営農の展開との関わりの中での園芸畑作部門のあり方、さらに園芸を岩手県農業の一つの柱にするための技術開発やそれを支える生産支援システムの構築など、新体制のもと、各部門との連携、共同研究を視野に入れながら研究に取り組んでいるところである。

=== 園芸畑作部各研究室紹介 ===

〈果樹研究室〉

岩手りんごのイメージはうまさと着色の良さにあります。「きおう」に続くオリジナル品種の開発育成に取り組むとともに、国際化に対応した大規模経営を推進するため品質、作業性に優れた小型樹を利用した早期成園化技術開発と機械等を組み合わせた超省力栽培法等の技術開発に取り組んでいます。

〈野菜畑作研究室〉

果菜類を中心とする、野菜の低コスト生産技術や省力化システム技術の開発を行っています。また、持続性の高い畑作営農を目指して、畑地の総合的利用技術の確立に力を入れています。

〈花き研究室〉

寒冷地型花き生産技術確立のために消費動向に適合した品種の開発や需要期に対応した計画的安定生産技術の開発を行っています。

現在はリンドウ、小ギク等のオリジナル品種の開発及び、重点品目のスリーシーズン安定生産のための開花調節技術の開発に力を入れています。

〈蚕桑技術研究室〉

海外、国内他産地と差別化できる糸質に重点をおいたブランドシルク産地の育成を図るため、特に糸質に優れた特徴を有する高価格繭糸生産用の蚕品種の育成や、給餌回数を大幅に軽減できる無菌人工飼料育技術の開発を行っています。

〈南部園芸研究室〉 〒029-2205 陸前高田市高田町大隅8-9
電話 (0192) 55-3733

県南部沿岸地域の恵まれた気象条件を生かした花き・園芸産地育成のための園芸作物の地域適応性試験や実証試験を行っています。特に花き等の新作物型地域適応性、高度施設利用型園芸技術、園芸施設の周年利用体系の確立に力を入れています。



誘導ケーブル式無人SSに装置した草刈機



全自動接ぎ木装置に適合した苗の養成



無菌状態で飼育中の蚕



リンドウの鉢物用品種「ももこりん」

岩手県農業研究センター地方自治功労者として自治大臣表彰

平成9年11月20日、岩手県農業研究センターが自治大臣から表彰を受けた。
これは、地方自治行政の運営に創意工夫して県民の福祉増進に多大の尽力があったとして表彰されたもの。

業績の概要は、県オリジナル水稲品種の開発、及びりんご品種の開発であり、卓抜したアイデアと優れたチームワークによる成果に高い評価が与えられたもの。

なお、この表彰を受けた課、プロジェクト・チーム、出先機関等は全国で本センターを含め15機関である。



畜産研究所種山畜産研究室が事績顕著表彰を受ける



増田知事より表彰状が授与された



表彰状を受け取った谷地室長

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室が、県産優良種雄牛の造成によって本県畜産業の振興に貢献した功績が顕著であるとして、知事から表彰を受けた。

その選抜・飼養技術は、黒毛和種の種雄牛の「第5夏藤号」や「夏茂号」などに代表され、全国的にもその優秀さが認められている。

岩手県農業研究センター公開セミナー及び職員セミナー開催

本センターでは、職員及び関係者の方々の農業研究に関する認識等を一層増す事を目的に各種セミナーを行っている。

10月20日に、センター公開セミナーとして安代町花き開発センター所長の吉池氏を招き、職員及び関係者およそ100名を集めて「岩手県における花き栽培の流れと将来展望」と題して講演をいただいた。

また、11月21日に行われた職員セミナーでは、海外事例報告として、鈴木園芸畑作部蚕桑技術研究室長が「変貌する中国“走馬観花”の旅」、宮下企画経営情報部企画情報室長及び築地生産環境部環境保全研究室主任専研が、「オーストラリア、ニュージーランドにおける環境保全型農業」と題して報告を行った。

12月行事予定

農業研究センター

- 10 研究会議（園芸畑作） 大会議室
東北地域稲作検討会（～11日） 仙台市
環境保全型畜産担当者会議 盛岡市
いわて純情トマトの集い ホテルメトロポリタン
- 11 研究会議（生産環境） 大会議室
研究会議（企画経営） 中会議室
- 12 研究会議（県北） 県北農業研究所
（財）岩手生物工学研究センター研究発表会 生物工学研究所
いわて・つくば研究者交流フォーラム 筑波市
物知り大学（職場活性化実践運動幹事会） 本屋内
- 15 専門部会（畜産） 畜産研究所
りんご防除啓蒙等研修会 本屋内
県植防理事・運営幹事会 農業保険会館
- 16 専門部会（農産） 中会議室

- 16 中央市場における岩手純情りんごの評価等実態調査 東京都
- 17 現地ふれあい農業研究センター 玉山村
- 18 専門部会（総合） 本部
- 19 専門部会（園芸畑作） 本部
- 24 企画運営会議 本部

病害虫防除所

- 10 農業管理士更新研修 県庁
- 11 地方別植物防疫事業実績検討会（～12日） 二戸市金田一
平成9年度農林航空事業実績検討会 農水省講堂
- 15 県植物防疫協会理事幹事合同会議 農保会館
- 16 県農林航空防除事業実績検討会（～17） つなぎ
北上地区行政事務連絡次課長会議 北上合庁
- 17 JA営農指導士講習会 滝沢村

IBCラジオ農業最前線放送予定

月～金 午後0時55分～

- 12/15 りんご園の改植 園芸畑作部 新田優子
- 12/16 ビーマンの育苗管理について 園芸畑作部 高橋正広
- 12/17 麦の越冬前の管理について 園芸畑作部 高橋昭彦
- 12/18 景観形成植物について 園芸畑作部 高橋寿一
- 12/22 今年の水稲病害虫発生経過①害虫 生産環境部 飯村茂之
- 12/23 今年の水稲病害虫発生経過②病害 生産環境部 飯村茂之
- 12/24 水稲育苗期病除の予防①細菌病 生産環境部 勝部和則
- 12/25 水稲育苗期病除の予防②糸状菌 生産環境部 勝部和則
- 1/1 農業における情報化について 企画経営情報部 中村勝則
- 1/5 黒毛和種の放牧①・②・③・④
- ～8 畜産研究所〈外山〉 増田隆晴

「おはよう今日も元気で」内容

午前6時50分～

- 12/12 トルコギキョウの栽培について 園芸畑作部 輪達公重
- 12/19 放牧育成牛の産肉性 畜産研究所 太田原健二
- 12/26 圃場整備事業の農業経営への波及効果 企画経営情報部 斉藤 恭
- 1/2 地域特産加工品の開発 生産環境部 石川美佳子
- 1/9 昨年の稲作をふりかえって 農産部 高橋政夫
- 1/16 りんごの剪定と今年管理計画 園芸畑作部 鈴木 哲

主な来所者

北上市農家組合、農林水産省大臣官房企画室情報化対策室、一樹会、山形県土地改良事業団、工業振興課関連企業、岩手県青年農業者、盛岡社会福祉協議会、岩手大学付属農場、宮城県地域農業改良普及センター、JA水沢婦人部、JA和賀中央農家組合長、JA田子町青年部